

■インターネットIR情報

当社は、株主・投資家の皆さまにタイムリーでわかりやすい情報発信を目指し、ホームページの充実をはかるなど、IR活動の向上に取り組んでいます。

キーウェア IR

検索

<https://www.keyware.co.jp/ir/>

■IR情報



1 個人投資家の皆さまへ

より深く当社グループをご理解いただくために個人投資家の皆さまへ向けた情報を発信しております。



2 決算説明（動画配信）

決算説明の動画を資料とともに配信しております。業績報告や今後の戦略などについてご説明しております。

キーウェアソリューションズ 株式会社

〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18
経営企画部 広報IR室
<https://www.keyware.co.jp>



※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

KEYWARE
SOLUTIONS

KEYWARE TIMES

株主通信 Vol.37

第60期 中間事業報告
2024年4月1日～2024年9月30日

特集

事業紹介 ～当社と社会のつながり～



IT can create it.

キーウェアソリューションズ 株式会社
東証スタンダード市場 3799

— トップメッセージ

中期経営計画達成に向けた取り組みを 着実に実行し、成長を加速するための 基盤を構築してまいります。

代表取締役社長

三田昌三



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、2023年3月期より5ヵ年中期経営計画「Vision2026」をスタートし、「基盤事業※1の質的転換」「プライムビジネス※2の拡大」「新領域へのチャレンジ」の3つの基本方針のもと、事業拡大と高収益化の実現に向けて取り組んでおります。

5ヵ年中期経営計画「Vision2026」の3年目となる当連結会計年度は、「基盤事業の質的転換」に向けて、プロダクトやクラウドサービスなどの活用拡大や、2021年に資本業務提携を締結した3社（株式会社J R東日本情報システム、兼松エレクトロニクス株式会社、キャノンマーケティングジャパン株式会社）との連携を一層推進したほか、請負案件の拡大、不採算案件の抑制に引き続き取り組みました。「プライムビジネスの拡大」に向けては、ERPパッケージを活用した基幹システム刷新の

提案活動を積極的に推進したほか、ERPソリューションのさらなる競争力強化をはかるため、クラウドERP「Biz」Optima®のIT業界向けテンプレート「プロジェクト採算管理テンプレート for Biz」Optimaを開発し提供開始しました。また、顧客のクラウド移行ニーズに応えるとともに、システム開発からインフラ構築まで一貫したソリューションの提供拡大を目指し、インフラ構築体制を強化しました。加えて、DX実現に取り組む企業の課題解決を支援するため、業務最適化コンサルティングやデジタル化ソリューションの提供に取り組み、新規顧客の獲得に努めております。「新領域へのチャレンジ」に向けては、サイバーセキュリティ領域においてエンジニアの育成やセキュリティ脆弱性診断の提供に取り組んだほか、デジタル金融領域において案件に参画するなど、事業領域の拡大に向けて取り組みを進めました。

こうした取り組みの結果、当社グループの当中間連結会計期間の受注高は9,948百万円（前年同期比345百万円減、3.4%減）、売上高は9,911百万円（同451百万円増、4.8%増）、営業利益は47百万円（同96百万円減、67.1%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は194百万円（同38百万円減、16.4%減）となりました。

上期の業績は概ね計画通りに進捗しております。引き続き、お客さまのニーズに迅速に対応し、通期業績予

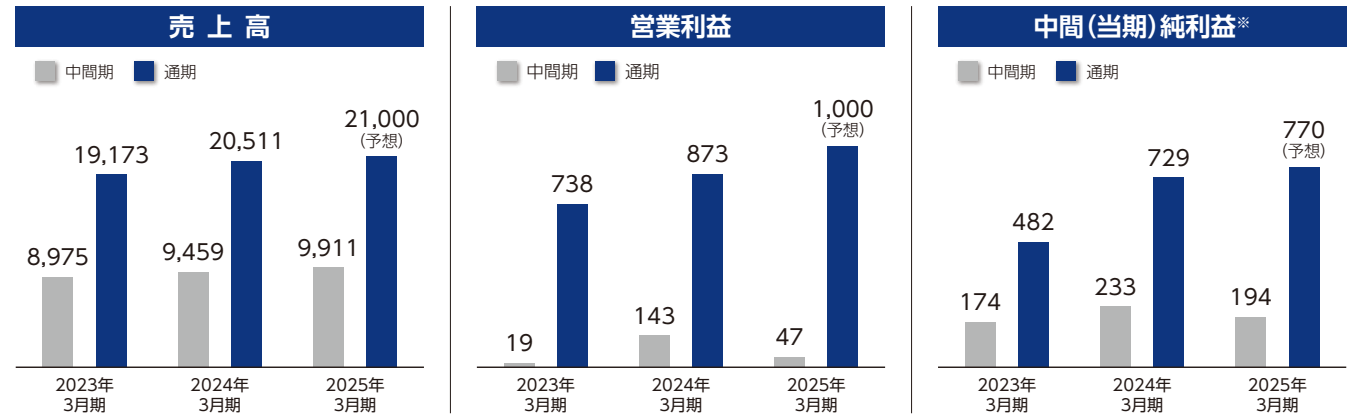
想の達成に向けて取り組んでまいります。また、中期経営計画「Vision2026」の達成に向けた取り組みを着実に実行し、今後さらに成長を加速するための基盤を構築してまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※1 当社グループの売上高の大部分を占めるシステム開発事業とSI事業を、基盤事業と位置付けています。

※2 当社グループでは、お客さまと直接契約を結びサービスやソリューションを提供する事業を「プライムビジネス」と称しております。

連結業績ハイライト（単位:百万円、単位未満切り捨て）



※親会社株主に帰属する中間(当期)純利益を記載しています。

▶ 連結業績に関して、より詳細な情報を決算説明動画で配信しています。裏表紙に記載のQRコードからご覧ください。

当社と社会のつながり

より豊かで安心・快適な社会の実現に向け、デジタルトランスフォーメーションを推進してまいります。当社の事業の一例をご紹介します。



※1 監視・制御ソリューション OpenMonitor（オープンモニター）を提供しています。

※2 交通広告システムを提供しています。

※3 医療機関向けソリューションMedlas（メドラス）シリーズを中心に各種パッケージソフトウェアを提供しています。

※4 農業ICTソリューション OGAL（オーガル）シリーズを提供しています。

※5 健康からだコンパスLifeRoute（ライフルート）を提供しています。

- 08 **メディア向けシステム開発**
ニュースセンター報道支援システムや、報道機器の管理システムを構築しています。
- 09 **金融業向けシステム開発**
金融機関における勘定系・情報系業務システムを構築しています。
- 10 **ホテルソリューション**
ホテルの宿泊業務、宴会業務、購買業務などトータルソリューションを提供しています。
- 11 **青果市場ソリューション**
青果市場向けに仕入、販売、売掛、買掛業務などの基幹業務システムを開発・サポートしています。
- 12 **農業ICTソリューション**
農作物の品質・生産性向上や栽培技能の継承を支援するソリューション※4を提供しています。
- 13 **DX推進コンサルティング**
業務最適化コンサルティングやデジタル化ソリューションの導入など、DX実現を支援するサービスを提供しています。
- 14 **ヘルスケアソリューション**
自治体・企業を中心に、個人の健康情報を記録・管理するソリューション※5を提供しています。
- 15 **官公庁向けシステム開発**
各省庁における業務システムを幅広く構築しています。
- 16 **モビリティソリューション**
車から情報（ビッグデータ）を集めて分析し、サービス・製品の向上を行うシステムの構築に携わっています。

Close Up キーウェア

キーウェアグループのビジネス展開や取り組みについてご紹介します

Brand-New Business

● 株式会社岩手銀行と「地域のDX推進に係る包括連携協定」を締結

当社は、株式会社岩手銀行（以下、岩手銀行）と「地域のDX推進に係る包括連携協定」を締結しました。岩手銀行は、地域のお客さまのIT・デジタル化に関する課題解決のため、2024年4月よりICTコンサルティングサービスを開始しており、当社は、ICTコンサルタントの育成やビジネスマッチングによるITソリューションの提供などを支援してまいりました。今回の連携協定で関係性をより強化し、盛岡市に拠点を置くキーウェア東北株式会社と連携しながら、岩手銀行のお客さまのDX推進を幅広い面から支援してまいります。



地域のDX推進に係る包括連携協定式の様子

Partnership

● 優れたセールスパートナーとして提携先2社から表彰

当社は2023年度に高い功績を残したパートナー企業であるとして2社より表彰されました。これからもパートナー企業様の製品の強みを活かし、お客さまに最適なソリューションを提供してまいります。



Biz[Partner AWARD 2024 「Excellent Award」受賞

株式会社NTTデータ・Bizインテグラルが主催する「Biz」AWARD 2024において、「Excellent Award」を受賞しました。この賞は、Biz「ビジネスの拡大に最も貢献した企業に授与されるものです。当社において、「Excellent Award」は5回目の受賞であり、2023年に続き2年連続の受賞となりました。

intra-mart Award 2024 「Superior Partner Award」受賞

株式会社NTTデータ イントラマートが開催した「intra-mart Award 2024」において、「Superior Partner Award」を受賞しました。この賞は、intra-mart製品販売において、ビジネス規模を拡大させたパートナー企業に授与されるものです。当社は2023年の「Special Project Award」受賞に続き、2年連続の受賞となりました。

Project

● 農産物の在庫管理業務のDX化を支援（JAつがる弘前様）

～モバイルアプリ作成ツールPlatio導入で、短期間でのアプリ開発が実現、脱紙・脱FAX、在庫精度向上に貢献～

弘前農業協同組合（JAつがる弘前）様では、年間約5万トンにおよぶりんごの商品管理・在庫管理のデジタル化を目指し、在庫管理アプリの導入を検討されていました。当社は「誰でも使える」「低コスト」かつ「短納期」が可能なノーコードツール「Platio」をご提案し、2カ月の短い開発期間で「りんご在庫管理アプリ」の導入が実現しました。これにより在庫の一元管理、即時把握が可能となり、在庫精度向上とペーパーレス化などにつながりました。今後も、最新技術を活用したソリューションを通じ、地域農業の発展に貢献してまいります。



本事例の詳細はこちら

▶ https://www.keyware.co.jp/products_solution/case/Platio_case02.html



サステナビリティ活動

南相馬市鎮魂復興市民植樹祭に参加しました

2024年6月に開催された「第12回南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」に当社および当社グループ子会社の役員・社員計26名が参加しました。植樹祭は、東日本大震災で犠牲となった人々を慰霊し、津波を緩衝するための「いのちを守る緑の防災林」の実現を目指して、2013年から毎年開催されています。当社は、2023年に続き2回目の参加となりました。今後も被災地の復興支援を続け、地域再生に貢献できるよう努めてまいります。



「SUSTAINABILITY REPORT 2024」を発行

当社では、毎年「サステナビリティレポート」を発行しております。当社ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。
▶ <https://www.keyware.co.jp/about/csr/report-index.html>



中間連結財務諸表(要約)

単位：百万円、単位未満切り捨て

中間連結貸借対照表

	前 期 2024年 3月31日現在	当中間期 2024年 9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	8,099	7,076
固定資産	4,426	4,488
有形固定資産	353	312
無形固定資産	444	439
投資その他の資産	3,627	3,736
資産合計	12,525	11,564
(負債の部)		
流動負債	3,317	2,285
固定負債	567	617
負債合計	3,885	2,902
(純資産の部)		
株主資本	8,397	8,434
その他の包括利益累計額	242	226
純資産合計	8,639	8,661
負債純資産合計	12,525	11,564

POINT 資産の部

契約資産および投資有価証券の増加はありましたが、現金及び預金、ならびに売掛金の減少などにより、前期末比961百万円減少の11,564百万円となりました。

POINT 負債の部

買掛金、未払金、および未払法人税等の減少などにより、前期末比982百万円減少の2,902百万円となりました。

POINT 純資産の部

退職給付に係る調整累計額の減少はありましたが、利益剰余金の増加により、前期末比21百万円増加の8,661百万円となりました。その結果、当中間期末の自己資本比率は、74.9%となりました。

中間連結損益計算書

	前中間期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	当中間期 2024年4月1日から 2024年9月30日まで
売上高	9,459	9,911
売上原価	7,854	8,306
売上総利益	1,605	1,605
販売費及び一般管理費	1,461	1,558
営業利益	143	47
経常利益	332	258
親会社株主に帰属する中間純利益	233	194

POINT 売上高

官庁系の既存案件の拡大や前年度受注したERP系の開発が順調に進捗したことなどにより、前年同期比451百万円増加の9,911百万円となりました。

POINT 営業利益

社内システムを含めた環境整備や教育研修などの人材投資費が増加したことなどにより前年同期比96百万円減少の47百万円となりました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	当中間期 2024年4月1日から 2024年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	168	△280
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34	△168
財務活動によるキャッシュ・フロー	200	△165
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	335	△615
現金及び現金同等物の期首残高	1,038	1,964
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,373	1,349

POINT 連結キャッシュ・フロー

営業CFは、税金等調整前中間純利益の計上、売上債権の減少、持分投資利益の計上、仕入債務の減少などにより280百万円のマイナス。投資CFは、有形固定資産および無形固定資産の取得などにより168百万円のマイナス。財務CFは、配当金の支払いにより165百万円のマイナスとなりました。その結果、現金及び現金同等物の中間期末残高は、前期末比615百万円減少の1,349百万円となりました。

株式情報

発行可能株式総数 36,440,000株

発行済株式総数 9,110,000株

株主数 3,548名

主要法人株主

- 株式会社 H B A
- 株式会社 J R 東日本情報システム
- 兼松エレクトロニクス株式会社
- キャノンマーケティングジャパン株式会社
- 住友生命保険相互会社
- 株式会社三井住友銀行

株式に関する手続き

- 住所変更などのお届け出およびご照会について
お取引の証券会社にお問い合わせください。証券会社の口座のご利用がない株主さまは右記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問い合わせください。
- 未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行にお申し出ください。

株主メモ

事業年度	毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで
定時株主総会	毎年 6 月開催
基準日	定時株主総会、期末配当金 毎年 3 月 31 日 中間配当金 毎年 9 月 30 日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して 定めた日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
【郵便物送付先】	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
【電話照会先】	(フリーダイヤル) 0120-782-031
【インターネット ホームページ URL】	https://www.smtb.jp/personal/ procedure/agency/
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場

会社概要

商 号	キーウェアソリューションズ株式会社
所 在 地	〒156-8588 東京都世田谷区上北沢 5-37-18
創 立	1965年 5 月
資 本 金	17億37百万円
売 上	205億11百万円(2024年 3 月期・連結)
従 業 員 数	1,272名(2024年 3 月 31 日現在・連結)
事 業 内 容	システム開発事業および総合ITサービス事業
取得認証・ 認 定	品質マネジメントシステム登録事業者 プライバシーマーク使用許諾事業者 情報セキュリティマネジメントシステム登録事業者 環境マネジメントシステム登録事業者 子育てサポート企業 くるみん認定 健康経営優良法人認定制度(大規模法人部門)認定
グ ル ー プ 会 社	キーウェアサービス株式会社 キーウェア北海道株式会社 キーウェア東北株式会社 キーウェア西日本株式会社 キーウェア九州株式会社 株式会社クレヴァシステムズ 株式会社オーガル

役員

代表取締役社長	み た まさ ひろ 三 田 昌 弘
取 締 役	お がわ とし かず 小 川 俊 一
取 締 役	さい どう いく お 斉 藤 郁 夫
取 締 役	か どう てつ ろう 加 藤 徹 郎
取 締 役	すえ つな たく や 末 綱 琢 也
取 締 役	わき や まさる 脇 谷 勝
社 外 取 締 役	の だ ま き こ 野 田 万起子
社 外 取 締 役	ステファン グスタフソン
社 外 取 締 役	たて だ あゆみ 館 田
監 査 役	さわ だ のぶ ゆき 澤 田 伸 行
監 査 役	うしろ ね けい じ 後 根 桂 二
社 外 監 査 役	たき た ひろし 瀧 田 博
社 外 監 査 役	おお た けん いち 大 田 研 一

※取締役 野田 万起子、ステファン グスタフソンおよび館田 あゆみは、会社法第 2 条第 15 号に定める社外取締役です。

※監査役 瀧田 博および大田 研一は、会社法第 2 条第 16 号に定める社外監査役です。

※取締役 野田 万起子、ステファン グスタフソンおよび監査役 瀧田 博、大田 研一は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員です。